

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 日本開閉器工業株式会社
 コード番号 6943 URL <http://nikkai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 智成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 市川 忠夫
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 JQ

TEL 044-813-8026

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 1,955 | — | 25 | — | 108 | — | 68 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 2,381 | 16.0 | 335 | 245.6 | 374 | 187.4 | 238 | 397.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 8.31 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 28.96 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|------|--------|------|--------|---|----------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 13,557 | 79.1 | 10,725 | 79.1 | — | — | 1,301.40 | — |
| 20年3月期 | 13,373 | 79.2 | 10,595 | 79.2 | — | — | 1,285.59 | — |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,724百万円 20年3月期 10,592百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 20年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 4,360 | — | 303 | — | 367 | — | 215 | — | 26.08 |
| 通期 | 8,900 | 1.1 | 620 | 28.4 | 750 | 80.3 | 440 | 209.9 | 53.38 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 8,425,200株 20年3月期 8,425,200株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 184,156株 20年3月期 183,756株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 8,241,344株 20年3月期第1四半期 8,242,963株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界経済は、原油・原材料価格の高騰や米国サブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱が続き先行き不透明感がさらに強まっております。わが国においても、企業収益の悪化に伴う設備投資の抑制や物価上昇に伴う個人消費の低下などにより景気の低迷が続き、経営環境は一段と厳しさを増してまいりました。

こうした中、当第1四半期における当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場の出荷総額は前年同期比8.5%減と依然として厳しい状況が続いております。

当社グループは中期経営計画「Quantum Leap Advanced」に基づき、世界販売契約を締結したグローバルディストリビューターからの販売や、IS（多機能押ボタンスイッチ）やタッチパネルをはじめとする重点商品、また特注品販売に積極的に取り組んでまいりましたが、こうした厳しい環境の影響を受け、当第1四半期の連結売上高は19億5千5百万円となりました。利益につきましても、金・銀や原油価格の高騰による原材料・部品の大幅なコスト上昇が、依然として利益全体に大きな影響を与えていることに加え、棚卸資産につき評価基準の変更を行ったことによる評価減額の増加などもあり、当第1四半期の連結営業利益は2千5百万円、経常利益は1億8百万円、四半期純利益は6千8百万円となりました。

なお、所在地別セグメントの概況は次の通りであります。

(1) 日本

特注品売上高の拡大や、次世代ISである「有機ELディスプレイ カラーIS」など新商品の投入に注力いたしましたが、産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場を含め引き続き国内市場が低調に推移したことにより、売上高は16億5千3百万円となりました。

(2) 米国

グローバルディストリビューターとの関係を強化し拡販に努めるも、サブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速による設備投資の鈍化等の理由により、売上高は4億8千万円となりました。

(3) 中国

中国生産品も主要販売先である日本、米国などの景気低迷の影響を受け、売上高は3億8千7百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

資産合計は135億5千7百万円（前連結会計年度末比1億8千3百万円の増加）となりました。

主な要因は、棚卸資産の増加（前連結会計年度末比1億8千8百万円の増加）によるものであります。

(2) 負債

負債合計は28億3千1百万円と前連結会計年度末比5千2百万円の増加にとどまりました。

(3) 純資産

純資産合計は107億2千5百万円（前連結会計年度末比1億3千万円の増加）となりました。

これは、評価・換算差額等合計（その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定）の増加（前連結会計年度末比1億9百万円の増加）及び、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2千2百万円の増加）によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月26日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算出する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、評価基準を低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ8百万円減少しております。

③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

（追加情報）

当社及び国内連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正を契機として、当第1四半期連結会計期間より、改正後の法人税法に基づく減価償却方法を適用しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,178,154 | 4,294,965 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,599,599 | 1,661,170 |
| 商品及び製品 | 1,375,958 | 1,243,985 |
| 仕掛品 | 8,971 | 37,584 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,059,524 | 1,974,369 |
| 繰延税金資産 | 167,079 | 183,868 |
| その他 | 82,089 | 83,674 |
| 貸倒引当金 | △3,069 | △3,079 |
| 流動資産合計 | 9,468,309 | 9,476,539 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,133,556 | 2,172,903 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 15,097 | 20,538 |
| その他 | 471,099 | 484,635 |
| 無形固定資産合計 | 487,006 | 505,174 |
| 投資その他の資産 | 1,468,216 | 1,219,144 |
| 固定資産合計 | 4,088,780 | 3,897,222 |
| 資産合計 | 13,557,089 | 13,373,762 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,324,210 | 1,342,571 |
| 短期借入金 | 13,407 | 46,621 |
| 未払法人税等 | 17,870 | 1,603 |
| 引当金 | 79,392 | 158,780 |
| その他 | 571,497 | 429,456 |
| 流動負債合計 | 2,006,378 | 1,979,032 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 33,209 | 37,379 |
| 役員退職慰労引当金 | 470,690 | 464,890 |
| 退職給付引当金 | 136,873 | 132,368 |
| その他 | 184,186 | 164,959 |
| 固定負債合計 | 824,959 | 799,598 |
| 負債合計 | 2,831,338 | 2,778,630 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 951,799 | 951,799 |
| 資本剰余金 | 833,305 | 833,305 |
| 利益剰余金 | 9,093,266 | 9,070,828 |
| 自己株式 | △156,222 | △155,942 |
| 株主資本合計 | 10,722,148 | 10,699,990 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 128,389 | 87,639 |
| 為替換算調整勘定 | △125,629 | △194,728 |
| 評価・換算差額等合計 | 2,759 | △107,088 |
| 少数株主持分 | 843 | 2,229 |
| 純資産合計 | 10,725,751 | 10,595,131 |
| 負債純資産合計 | 13,557,089 | 13,373,762 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 1,955,036 |
| 売上原価 | 1,118,469 |
| 売上総利益 | 836,566 |
| 販売費及び一般管理費 | 810,804 |
| 営業利益 | 25,762 |
| 営業外収益 | |
| 為替差益 | 60,548 |
| 受取賃貸料 | 7,144 |
| その他 | 17,438 |
| 営業外収益合計 | 85,131 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 632 |
| 賃貸収入原価 | 923 |
| その他 | 416 |
| 営業外費用合計 | 1,972 |
| 経常利益 | 108,921 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 52 |
| 特別利益合計 | 52 |
| 特別損失 | |
| 固定資産処分損 | 11,654 |
| 特別損失合計 | 11,654 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 97,318 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18,715 |
| 法人税等調整額 | 11,463 |
| 法人税等合計 | 30,179 |
| 少数株主利益 | △1,385 |
| 四半期純利益 | 68,525 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|----------------|-------------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 2,381,545 |
| II 売上原価 | 1,274,082 |
| 売上総利益 | 1,107,463 |
| III 販売費及び一般管理費 | 771,842 |
| 営業利益 | 335,621 |
| IV 営業外収益 | 52,996 |
| V 営業外費用 | 13,823 |
| 経常利益 | 374,794 |
| VI 特別利益 | — |
| VII 特別損失 | 3,462 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 371,331 |
| 税金費用 | 132,423 |
| 少数株主利益 | 192 |
| 四半期純利益 | 238,715 |